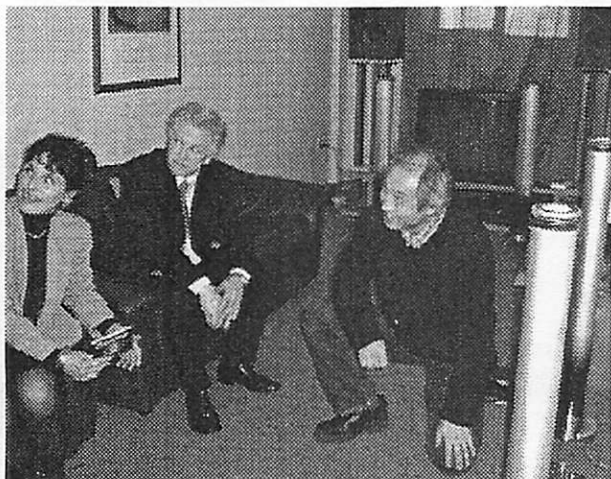


TimeDomain ロンドン紀行

去る、4月中旬と5月下旬タイムドメインスタッフは、イギリス・ロンドンの加藤宏史氏（TimeDomain Internation社長）のご案内により、素晴らしいスタジオでデモを行いました。



4月はスタジオ「SENSIBLE」の応接室で行われました。

英国通産省顧問や英国インターネット協会の会長なども訪れ、なごやかな雰囲気の中で加藤氏は精力的に説明をしてください、来訪者は非情に興味深くそれを聞かれました。

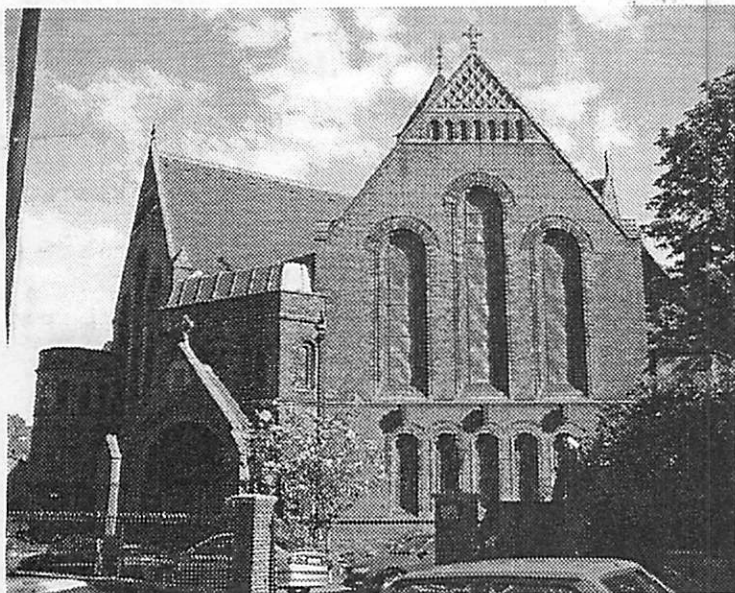
心に残ったのは部屋を訪れる録音技術者達が、部屋には行って来た瞬間「Yoshii9」見るなり、あっけにとられた表情をしたことです。

あの小さな9センチの筒に収められたスピーカユニットから、どうして驚くほどのボリュームの音とはっきりとした低音がでるのか、いちように不思議がりましたが、これが株式会社タイムドメインの由井社長の構築した、タイムドメイン理論の神髄なのです。



スタジオ「SENSIBLE」は、マイケル・ジャクソン、スティービー・ワンダー、デュラン・デュラン等、人気のあるミュージシャンが使っています。また、これらのアーティスト達は世界ツアーにここのPA機材を使います。タイムドメイン理論によるプロオーディオ機器の開発に加藤氏が着手されるので、製品ができたあかつきには、「ぜひ使いたい」と「SENSIBLE」のアレン社長は話していました。



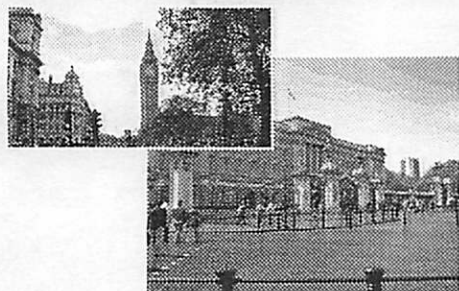


5月には、サー・ジョージ・マーチン（ビートルズの育ての親といわれているプロデューサー：エリザベス女王から「サー」の称号を与えられた）の「AIR STUDIO」の第1スタジオでデモを行いました。「AIR STUDIO」は教会を改造して造られたスタジオで、いちばん大きなスタジオホールには、荘厳なパイプオルガンがあります。前回に参加した方々を含め、30人ほどがタイムドメインの音を体験しました。スタジオエンジニアが他社のオーディオシステムを、わざわざセッティングをして、聴き比べをしようと思いましたが、配線が終わって音を出した瞬間にやめてしまいました。比べようがなかったのです。

雑誌記者が来て説明を求めましたが、従来のオーディオ理論を使って、タイムドメイン理論を理解しようとし、混乱して帰りました。



4月は、ロンドンへはとんぼ返りで帰ってきましたが、5月は観光客も装ってみました。（バッキンガム宮殿、ビッグベン、ロンドン橋など）



余談その1

「Yoshii9」はチューブ型スピーカーシステムです。ロンドン紀行にはゴルフのハードケースに収納して持ち運びました。しかし、これがとんだケースで、もともとはバズーカ砲などのケースだったので、事件が起きました。

5月の渡英、空港の税関で入国しようとした由井社長が止められました。

中を明けて説明したのですが、いろいろと誤解が発生し（イギリス英語は早口でセンテンスが長くて聞き取りにくい）、税関の別室に由井社長が連行されました。

スタッフは出口の前で小1時間待ちました。しばらくするとここにこの由井社長が現れて、ケースを引っ張って出てきました。

「説明してもわかってくれないので、セッティングして聴いてもらった」。

始めは説明を求められていたようですが、由井社長はさっさとシステムをセッティングして、音を出したと言われるのです。

すると、別の仕事をしていた税関の人たちまでが集まって「素晴らしい！」と褒めて下さったそうです。

和やかな雰囲気の中で税関を送りだされたようです。

オーディオ発祥の地の、堅い税関職員の人々達に勤務中に認められたのは、やっぱり「素晴らしい」に尽きます。これで気持ちのいい「ロンドン紀行」になりました。

余談その2

5月のロンドン紀行帰国後、ロンドンの加藤氏から電話がありました。

「ABBEY ROAD STUDIOへ「Yoshii9」を持ち込んで、友人のクラシック録音技術者にあずけて帰ってきた。夕刻、引き取りに行くと彼は「え？あれはホームユースなの？」と言ったんだ。一流の録音技術者が褒めていたよ。」

タイムドメイン製品の特質は、すぐれたソフトの再現性にあります。そのために、再生中のソフトにがっかりすることがあるのです。

録音技術者にお聞きすると、使っているマイクやスタジオ、ミキサーの腕前まで明確にわかるそうです。

ソフトには必ずしも高品質の音が入っているわけではなく、また昨今の時間を無視した録音方法でつくられたソフトを、タイムドメインのシステムが受け入れられるものではないのです。

録音現場に従事する技術者達が、タイムドメインの再現性から、次の時代のためにすべき事を考える機会を、という目的で行ったロンドンデモは「成功した」と言っても過言ではないと考えています。

今度はマイクから始まるプロオーディオ（録音機材）の世界が、タイムドメインを待っています。